

高崎市

市勢要覧





高崎市市勢要覧 2024

contents

1. 高崎市が誇る6つのSOS事業

子育てSOSサービス	2
ヤングケアラーSOS	3
介護SOSサービス	4
高齢者ごみ出しSOS	4
高齢者世帯買い物SOS	5
高齢者力しごとSOS	5

2. 出産・子育て支援

子育てを支える	6
学校給食費の一部無償化	8
出産・産後、不妊治療への支援	8
高崎の保育への取り組み	10
市独自の児童相談所の設置	10
教育への取り組み	11

3. 高齢者と家族に優しいまち

高齢者の生活を守るために	12
介護を手助け	14
障害のある人の生活を守るために	15

4. 全国に、世界にメイド・イン・高崎の「うんまいもん」や「伝統技術」を発信

高崎ブランド・シティプロモーション	16
食の発信事業	17
高崎シティプロモーション	18
本市が誇るものづくり	19

5. 進化する文化芸術・スポーツの力

高崎芸術劇場	22
高崎アリーナ	23
音楽のあふれるまち	24
清水善造メモリアルテニスコート	26
UTSUGI STADIUM	27
榛名山ヒルクライムin高崎	27

6. 農業を応援する取り組み

農畜産物のブランド力向上	28
担い手の確保など	29
国内・海外へ高崎の農産物を発信	29

7. 石碑に刻まれた古代の記憶

ユネスコ「世界の記憶」に登録	30
----------------	----

8. 新しいまちづくりのために

豊岡だるま駅と高崎だるまミュージアム(仮称)の整備	32
烏川かわまちづくり整備事業と榛名のフルーツ	33





6つのSOSを紹介

高崎市が誇る 6つのSOS事業

子どもから高齢者まで、誰もが心地よく暮らすために、
本市独自の6つのSOS事業を実施しています。
利用者目線で取り組む、
高崎市のSOS事業を紹介します。



電話1本で
原則1時間以内に
ヘルパーが訪問



子育てSOS サービス

保護者の育児に関わる精神的、肉体的負担を軽減するためのサービスです。電話1本で、原則1時間以内に育児や家事の経験のあるヘルパーが、妊娠中の人や就学前の子どもがいる自宅を訪問。掃除や洗濯、おむつ替えや授乳の準備・片付けなど、家事や育児をお手伝いします。先輩ママのヘルパーに子育ての体験談を聞いたり、電話で保健師に子育ての悩みを相談したりすることもできます。



ヤングケアラーSOS

さまざまな事情により、お手伝いの範囲を超えて家事や家族の世話などを行い、子どもらしく過ごす時間がなくなっている「ヤングケアラー」。全国に先駆け、ヤングケアラーを支援するのがヤングケアラーSOSです。ヤングケアラーのいる家庭に無料でサポーターを2人派遣。掃除や調理などの家事や、きょうだいの世話、家族の介護を行います。1日2時間、週2日まで利用でき、子ども一人一人の状況に合わせた支援を行っています。



子どもたちの負担を減らす
全国初の取り組み

電話1本で24時間
365日すぐに対応

介護 SOS サービス

介護の手助け
が必要になった時、
電話1本で24時間
365日すぐに対応
するサービスです。介
護認定や登録などは不
要。介護する家族の負担
を減らし、介護による離職
をなくすための取り組みで
す。介護福祉士などが駆け付
け、食事の準備や入浴、外出
の同行などを行う訪問サービ
スと、被介護者の宿泊サービス
があります。

無料で自宅に訪問し
ごみを収集

高齢者 ごみ出し SOS

ごみ出しが困難な世帯をお手伝いす
る無料のサービスです。高齢者のみの
世帯や障害のある人のみの世帯、小
い子どもがいる世帯が対象で、週1回
決められた曜日に、市が委託した業者
が利用者宅を訪問。玄関先などからか
じめ決めた場所に置かれたごみを収集
します。収集時に声かけを行うことで、
利用者の見守りにもつなげています。



体調不良の時の
買い物を支援

高齢者世帯 買い物 SOS

体調不良などで買い物が困難になった高齢者世帯を支援します。市が指定する事業者へ、必要な食料品や日用品を電話やインターネットで注文。原則、正午までの注文は当日、午後の注文は翌日に商品が自宅まで配送されます。利用には事前登録が必要で、1世帯当たり週2回まで利用可能。費用は無料（注文した商品代は利用者負担）です。利用者からは、ただ配達してもらっただけでなく、人とのつながりや温かさを感じられるという声をいただいています。



電話1本で
力仕事をお手伝い

高齢者 かしごと SOS

「粗大ごみを出したいけど重くて運べない」「家具を動かしたいけど重たい」——高齢者世帯などのこうした困り事を解消するサービスです。対象は、70歳以上の高齢者のみの世帯と障害がある人のみの世帯。電話1本で作業員が自宅を訪問し、力仕事をお手伝いします。重い物の移動などの力仕事は無料（粗大ごみや家電などの処分費用は利用者負担）です。



出産・ 子育て支援

安心して出産、子育てができるよう、一人一人のニーズに合った支援をあらゆる方向から実施しています。さらに、市独自の児童相談所を設置し、積極的な支援を可能にします。

出産から子育て、教育に関する高崎市の取り組みを紹介します。

子育てを
支える

子育て世帯のニーズに合わせて、全国でも例のない独自のサービスを展開している高崎市。あらゆる方向から、子育ての支援に取り組んでいます。

子育てのことなら
何でも
ワンストップで対応

子育て
なんでもセンター

子育て中や妊娠中の人が、1か所で気軽にさまざまな相談ができ、必要な支援を受けられる子育て支援の拠点です。また、乳幼児向けの遊具やおもちゃを設置している「交流・プレイルーム」では、子どもたちの遊びの場を提供しています。

ます





託児ルーム

(高崎キッズサポートかしの木)

映画鑑賞や買い物などの子育て中のリフレッシュから、冠婚葬祭や仕事などの急な用事まで、理由を問わず誰でも気軽に利用できる託児ルームです。保育士の資格を持つスタッフが、子どもたちを預かります。

子育て相談

保健師・保育士・教育相談員が、子育ての不安や悩み、子どもの健康や発達などについての相談を受け付けています。また、保育所(園)・幼稚園・こども園の情報提供や相談なども実施しています。

就労相談

キャリアコンサルタントの資格を持つスタッフが、ハローワークと連携をとりながら、子育て世代の就労に関する相談を受け付けています。就職相談や求人情報の提供、出産・子育てで離職した人の再就職支援、ひとり親の就労支援の他、資格取得やキャリアアップの相談にも対応します。



理由を問わず
誰でも利用できる



子育て世帯を
経済的に支援

学校給食費の 一部無償化

子育て世帯を経済的に支援するため、令和7年度から市立の小・中学校と特別支援学校の給食費の一部無償化を行います。第二子以降の給食費を無償化し、第一子の給食費の10パーセントを市が負担します。また、高崎市では食材価格の高騰に伴う、給食材料費の高騰分の支援を令和4年度から行っています。

出産・産後、 不妊治療 への支援

高崎市で安心して出産・子育てができるよう、出産入院費用の補助や新生児検査費の助成など、本市独自の支援を行っています。また、不妊治療を行う人への支援も実施。
出産・子育て世帯と、妊娠を望む人へのさまざまな取り組みを紹介します。

所得額に関係なく
全ての妊婦に支給

妊婦健康診査 特別助成

妊婦が定期的な健康診査を受診する際にかかる費用（一部の診査を除く）を助成するため、妊婦1人につき1万円分（千円×10枚）の補助券を交付します。全国的にも珍しい、本市ならではの助成です。

妊婦初回 産科受診料助成

はじめて産科を受診する妊婦に対して、妊娠の判定に必要な費用を助成します。助成額は上限1万円。所得額に関係なく全ての妊婦に支給される、本市独自の支援制度です。

妊婦1人につき
1万円分の
補助券を交付

年齢・申請回数
の制限なし

生殖補助医療費 助成

生殖補助医療や男性不妊治療を行う人を対象に、保険診療および保険外診療の治療にかかる費用の一部を助成します。年齢制限、申請回数の制限はありません。

任意検査の
自己負担に対し助成

新生児難病検査費 助成

公費負担で実施される検査以外の、任意検査にかかる自己負担分に対して助成しています。さらに難病が発見された場合には、通院にかかる交通費も併せて助成。一人でも多くの新生児の検査・治療につなげます。

1回の出産につき
5万円を助成

出産入院費用 支援金

医療機関にて正常分娩で出産した産婦に対して、出産入院にかかった費用を助成します。助成額は、1回の出産につき5万円です。

不妊治療などに
かかる費用の
一部を助成

不妊治療・ 不育症治療費等助成

一般不妊治療や不育症治療を行う人を対象に費用の一部を助成する、本市独自の取り組みです。助成額は、対象となる治療費の自己負担額のうち、一般不妊治療助成は10万円、不育症治療費等助成は20万円が上限です。

無料で通所、訪問による
産後ケアが利用可能

産後ケア事業

産後ケアを必要とする産婦が対象です。産後1年以内に、最大7日(多胎児出産の場合は12日)、医療機関や助産所などにおいて、通所や訪問による産後ケアを利用することができます。産後の体調管理や育児をサポートすることで、育児不安の緩和や産後うつ予防につなげます。



入所申し込みを
毎月受け付け
原則2週間で回答



高崎の 保育への 取り組み

頑張る子育て
世代を応援す
るため、全国
に先駆けたさ
まざまな取り
組みを行って
います。

通年受付・ 待機児童 ゼロの継続

保育所への入所を通年で受け付けています。入所申し込みを毎月受け付けし、入所の可否を原則2週間で回答。申し込みから通知までの時間を大幅に短縮することで、保育所が決まるまでの不安を解消します。

さらに、保育所の定員を増やすための施設整備や、保育士を確保することを目的とした、保育士を目標としている人の就労支援や相談業務を行う「保育士情報ステーション」の設置、保育士を対象とした家賃補助など、さまざまな施策を行い、待機児童ゼロを実現しています。

「高崎の子どもは
高崎で守る」

市独自の 児童相談所 の設置

「高崎の子どもは高崎で守る」を掲げ、令和7年度開所に向けて整備を進めている児童相談所（問屋町4丁目）。中核市として独自に設置することで、増え続ける児童虐待に対し、より迅速な対応や、行政サービスを活用した「行動する児童相談所」として積極的な支援を可能にします。





教育への 取り組み

子どもたちが英語に親しみ、国際感覚を育める教育環境を整えるため、本市独自の英語教育を進めています。

小中学校と
市立高校に
ALTを配置

英語教育の 充実・ALT

市内83校の小中学校と1校の市立高校に、ALT（英語指導助手）94人を配置しています。規模の大きい学校には2人のALTを配置。中核市で全校にALTを配置している例はほとんどなく、全国でも珍しい取り組みです。各ALTは、担任や英語担当教員とチームティーチングにより授業を実施。生きた英語を学ぶことで、子どもたちは自然と高い英語力を身に付けることができます。



くらぶち 英語村

生きた英語を学べる
山村留学施設

小中学生が生きた英語を学べる山村留学施設です。子どもたちが親元を離れ、英語のネイティブスピーカーのスタッフと共同生活を送ることで、実践的な英語力や豊かな国際感覚を身に付けることができます。倉淵地域の豊かな自然環境に囲まれながらキャンプやハイキングなどを体験することで、自立心や生きる力を育めることも特徴の一つです。

高齢者と家族に 優しいまち

高崎市では、全国に先駆けた新しい福祉に取り組んでいます。市民の皆さんが安心して暮らせるようにするためのさまざまなサービスを紹介します。

高齢者の
生活を
守るために

「出向く福祉」
を実施

高齢者 あんしんセンター

高齢者の日常的な困り事から介護サービスなどの専門的なことまで、幅広く相談を受け付け支援につなげる窓口です。市内の29か所に開設。職員が自宅へ伺って相談を受けたり、定期的に訪問したりする「出向く福祉」を実践しています。各センターでは、保健師や社会福祉士、主任介護支援専門員などの資格を持つ職員が、専門性を生かして地域の高齢者をサポートします。





おとしより ぐるりんタクシー

ルート上ならどこでも乗り降り自由で、誰でも無料で利用できます。事前予約や利用登録は不要。車いすにも対応しています。ルートは、既存のバス停などそこから離れた地区をつなぎつつ、地域内のスーパーや医療機関などの周辺を通るように設定。市内に15ルートが運行しています。タクシーの現在地は、電話やスマートフォンで簡単に確認が可能。日常生活の足や、ちょっとしたお出かけに、気軽に利用できます。

ルート上ならどこでも
乗り降り自由
誰でも無料で利用可能





高齢者福祉に関することなら
予約不要でなんでも相談可能

高齢者福祉 なんでも相談センター

介護サービスなどに関すること、将来の親の介護への不安など、高齢者福祉に関することから、予約不要でなんでも相談できます。高齢者福祉に精通するスタッフが常駐し、相談内容に応じて市の支援事業を紹介したり、専門の関係機関につないだりします。予約制で、ファイナンスプランナーや司法書士、弁護士などによる後見人制度や相続などの専門的な相談をすることもできます。

介護を
手助け

高齢者等あんしん 見守りシステム

自宅に設置する「安否確認センサー」と「緊急通報装置」、首から下げられる「ペンダント型緊急通報ボタン」で、24時間365日体制で高齢者を見守ります。一定時間センサーに反応がなかったり、非常ボタンが押されたりするなどの異常があった時に、市が委託した「見守りセンター」がいつでも対応。緊急連絡先として登録された家族や知人、民生委員などへ連絡します。状況に応じて、同センター職員が直接利用者の自宅に駆けつけることもあります。機器の設置・貸し出しは無料です。



24時間365日
体制で対応

はいかい高齢者 救援システム

高齢者が行方不明になった時に、いち早く発見・保護するための取り組みです。利用者に無料でGPS（衛星測位システム）機器を貸し出します。機器を身につけている高齢者が行方不明になり、緊急連絡先として登録された家族や介護者から通報が入ると、市が委託した「見守りセンター」が高齢者の現在地を確認。位置情報を電話やメールでお知らせします。状況に応じて、同センターの職員が現地に向かい保護。24時間365日体制で対応します。





障害のある人の
生活を
守るために

倉渕就労継続支援施設 「くらぶちメロン村」

障害のある人の就労や社会参加の場を創出するために整備された、メロンの水耕栽培を行う就労継続支援B型事業所です。付加価値が高く、作業負担の少ないメロンの水耕栽培施設とすることで、障害のある人が就労しやすく、収入を向上させ、将来への不安を抱える本人や家族を支援しています。農福連携のこの取り組みは、全国から注目を集めています。

就労に不安を抱える
本人と家族を支援



障害者支援 SOSセンター ばるくん高崎

障害者手帳の有無に関わらず、障害に関するさまざまな相談をワンストップで受け付ける窓口です。福祉サービスや介護、日常生活、就労に関することなど、本人や家族から相談を受け付け。適切な支援が早期に受けられるよう、助言をしたり、関係部署や機関につなぐコーディネートを行ったりします。どこに相談したらよいか分からない悩みや不安を1か所で受け付けることで、本人や家族の負担を軽減しています。



Yokosuka Brand

全国に、世界に
メイド・イン・高崎の
「うんまいもん」や
「伝統技術」を発信



グルメサイト「絶メシリスト」に 全国、世界が熱視線

市民に長年愛され、絶やしてしまうには惜しすぎる市内の絶品グルメ店を紹介するウェブサイト「絶メシリスト」。高崎発のこの取り組みは、どこにでも起こりうる、古くから愛され続けた飲食店の存続や後継者問題にスポットを当てた事業として、国内にとどまらず、世界三大広告賞の1つ「カンヌライオンズ 2019」でブロンズ賞を受賞するなど、世界でも高く評価されています。



高崎ブランド・
シティプロモーション





Ja

食の 発信事業

高崎の食を全国にPR

高崎の食の魅力を全国に発信するため、首都圏などで開催される大規模な食のイベントに出展しています。「開運たかさき食堂」と銘打ち、赤を基調とした縁起の良いデザインを店舗にPR。「パスタのまち高崎」として、多くの市民に親しまれている高崎パスタや、群馬、高崎のソウルフードである焼きまんじゅうは、毎回長蛇の列ができるほど人気な高崎名物です。



高崎

シティプロモーション

City Promotions



高崎の多様で多彩な個性を PR

高崎市の産業、文化、観光などを広く周知するため、銀座や代官山などの首都圏で「高崎シティプロモーション」を実施しています。本市が全国に誇る高崎だるま®などの工芸品や、高崎パスタや焼きまんじゅうなどの名物、農産物などの販売と併せ、高崎第九合唱団のコンサートを実施することで、本市の多様で多彩な個性を PR しています。本市が目指す進化する都市づくりを東京で発信することで、高崎の魅力をより多くの人に知ってもらう機会となっています。



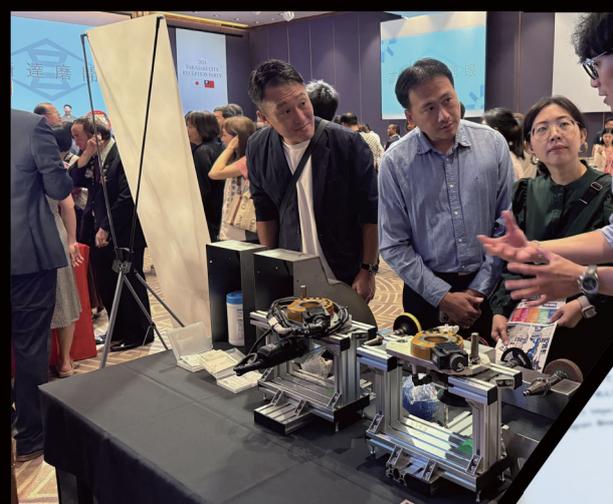
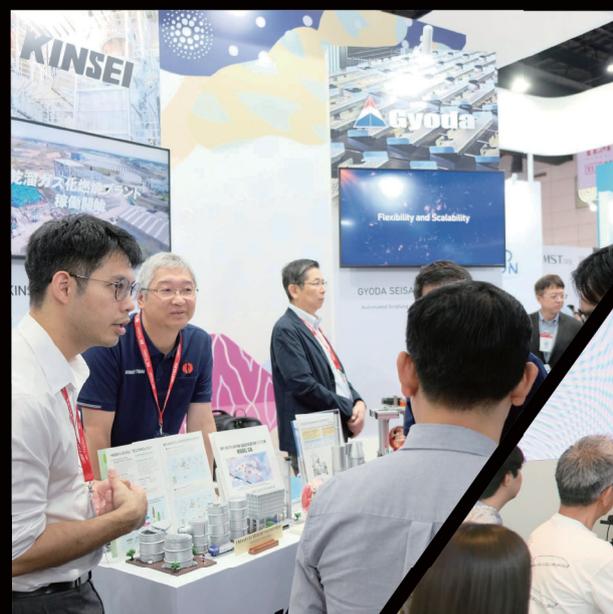
本市が誇る
ものづくり



高崎のものづくりの 海外進出を後押し

本州の中央に位置する高崎市は、新幹線や高速道路といった交通インフラの拠点性を有し、商都高崎として発展してきました。この立地を生かし、昔から金属製品の製造や加工、食料品など、さまざまなものづくりが盛んに行われています。そんな本市が誇るものづくり企業の販路拡大や、ビジネス機会の創出などを目的に「高崎ものづくり海外フェア」を2014年から行っています。日本の都市が単独で海外商談会を開くケースは珍しく、注目を集めています。これまでにインドやタイ、シンガポール、台湾などで高崎の持つ技術のPRを行い、機械や金属加工、精密部品、ロケット・航空機部品、半導体などのものづくり企業が出展。本市のものづくりの海外進出を後押ししています。

また、JR 高崎駅直結のビルに、2018年にジェトロ群馬貿易情報センターが、2020年にジャイカ東京高崎分室が開設。本市の企業と海外市場をつなげる役割を担っています。



進化する
文化芸術
スポーツの力

Culture and Sports



TRIANGROOVE

TAKASIME ROCKFEST.





国内最高水準の設備・機構を兼ね備え、さまざまなジャンルの公演が行われる高崎芸術劇場。大劇場、スタジオシアター、音楽ホールの3つのホールを有する劇場です。「音楽のある街・高崎」の新たな象徴として、高崎の文化芸術を創造・発信しています。日本の地方オーケストラの草分けとして知られる群馬交響楽団の活動拠点でもあります。



音楽ホール

群馬県初の本格的な音楽専用ホール。木の優しい温もりに包み込まれ、豊かな響きにこだわった音楽空間です



スタジオシアター

舞台の広さを変えられる他、客席までをフラットにできるフレキシブルな空間で、ロックコンサートや演劇、伝統芸能などの開催に適しています。本格的な仮設の能舞台を備えています



大劇場

国内最大級の間口の広さを誇る高機能な多目的ホール。コンサートホールのようにクラシック音楽を客席の隅々まで届ける他、大型のミュージカルやオペラ、ロックまで多彩な公演の演出に対応することができます

Theater

高崎アリーナ

新幹線の車窓からも望める外観デザインが印象的な高崎アリーナ。オープン以来数多くの国際大会や、人気アーティストのライブが行われています。国際大会規格に対応した設備から、国内外のトップアスリートが集う世界レベルの大会も数多く開催。東京 2020 オリンピックに出場したポーランド男子バレーボールチームの事前合宿や、ウクライナ新体操チームの避難合宿の受け入れなど、スポーツを通じた世界との交流拠点にもなっています。

Arena



音楽のある街・高崎

群馬交響楽団の拠点や高崎芸樹劇場、市営のプロ専用レコーディングスタジオを有する高崎市。一世を風靡した伝説のロックバンド・BOØWYの出身地としても知られています。音楽が身近にある高崎市は、地域に根ざした音楽文化が育ち、市民主体の音楽活動が数多く行われています。



1 高崎音楽祭

高崎を代表する音楽イベントの1つ。毎年、幅広いジャンルの豪華アーティストが出演しています(毎年9月~10月にかけて開催)

2 おとまちライブ

毎週日曜日には、JR高崎駅周辺で「高崎おとまちプロジェクト」主催による路上ライブが行われています

3 高崎マーチングフェスティバル

市内の子どもや全国トップレベルのバンドが、まちなかのパレードやフロアドリルなど元気いっぱいの演奏と華麗なパフォーマンスを披露します(毎年10月開催)

4 ストリートライブin高崎 どこもかしこも

北関東最大級の路上ライブの祭典。プロ・アマ問わずさまざまなジャンルのアーティストが、まちなかで同時多発的に路上ライブを行います(毎年5月開催)

ロックの街・高崎

路上ライブが毎週行われる高崎市には、演奏の場を求め市外からも多くのミュージシャンが集まります。さらに、ロックからクラシック、マーチングまで、多様な音楽イベントが年間をとおして開催される高崎市は、まちなかの至るところでさまざまなジャンルの音楽があふれる「ロックの街」として、音楽でさらなる盛り上がりを見せています。

JR 高崎駅
Takesaki Station

Rock



5 TAKASAKI CITY ROCK FES.

高崎駅から1km圏内にある3つの大規模集客施設とまちなかで同時開催する群馬県最大級のロックフェスです(毎年6月開催)

6 拝啓ボウイ様

全国から集結したBOØWYへの愛あふれるバンドが熱い演奏を繰り広げます(毎年11月開催)

7 TAGO STUDIO MUSIC FESTIVAL

TAGO STUDIO TAKASAKIが行う全国アマチュアオーディション。トップアーティストによるスペシャルライブも開催しています(隔年開催)

8 TAGO STUDIO TAKASAKI

高崎発の音楽=高崎サウンドを世界に発信していくことを目指す、市営のプロ専用レコーディングスタジオ。数多くの有名アーティストがレコーディングを行っています

清水善造

メモリアル

テニスコート

歴史的なテニス選手、清水善造の出身地であり、国内トップクラスのテニスコート清水善造メモリアルテニスコートを有する高崎市。2023年、2024年には、ITF（国際テニス連盟）が管轄する女子ワールド・テニス・ツアーの大会「高崎国際オープン」が開催されました。この大会は、同ツアー最高グレードのW100大会。2023年は世界初となる2週連続のW100大会となり、世界の強豪選手による、白熱した試合が2週に渡って繰り広げられました。



清水善造メモリアルテニスコート

1920年に日本人で初めてウィンブルドン選手権に出場したテニス選手、清水善造の名を冠したテニスコート。全米オープンと同仕様のセミハードコートを21面備え、その規模は国内トップクラスです。

UTSUGI STADIUM

日本代表選手を多く輩出している実業団女子ソフトボールの強豪、ビックカメラ高崎と太陽誘電の2チームが本拠地を置く高崎市。ソフトボール専用球場 UTSUGI STADIUM を有し、国内外の大会が多く行われるソフトボールが盛んなまちです。また、ビックカメラ高崎、太陽誘電の選手によるソフトボール教室や、国際大会「UTSUGI CUP 国際女子ソフトボール大会 in 高崎」などを開催。ソフトボールの魅力や、将来のソフトボール界を担う育成年代の競技力向上、競技振興にも力を入れています。



Softball



UTSUGI STADIUM

高崎から世界で活躍した、日本女子ソフトボール界を象徴する宇津木妙子さん、宇津木麗華さんにちなんで名付けられた人工芝のソフトボール専用球場。国際大会規格に対応し、多くの国際大会や、日本女子代表チームの強化合宿などが行われています。

榛名山 ヒルクライム in 高崎

山頂に観光地として有名な榛名湖を有する榛名山を自転車で駆け上がるヒルクライムレース「榛名山ヒルクライム in 高崎 (通称ハルヒル)」。2013年に始まり、今や国内有数のヒルクライムレースとなりました。多くのボランティアや地元の人が携わり、沿道からの温かい声援やゴール後の地元グルメなど、地域を挙げたおもてなしは参加者から大好評。毎年全国から、初心者や親子連れ、上級者まで多くの参加者が榛名山を舞台に己の限界に挑みます。



農業を 応援する取り組み

榛名地域の梨、桃、プラム、榛名・箕郷地域の梅、群馬地域の国府白菜や国分になじん、倉淵地域のはんでえ米、吉井地域のキュウリ。自然豊かな高崎市では、地域ごとに多彩な農産物の生産が盛んです。本市では、こうした農産物の6次産業化やブランド化、また新たに農業に挑戦する人や荒廃農地を活用して規模の拡大を目指す農業者などを支援しています。

農畜産物の
ブランド力
向上

新商品の開発にチャレンジする
農業者を支援

6次産業化等推進事業補助金と ブランド商品開発事業補助金

農畜産物のさらなる質の向上や、付加価値を求め加工品の開発などに取り組む生産者に対し補助金を支給しています。施設の建設費から、商品開発や事業拡大における設備購入費、商品パッケージやリーフレット制作といった販売促進費までを支援。これまでに、野菜や果物を使ったオリジナルジュースや梅を使った調味料などの新商品が数多く誕生するなど、新たな加工品の開発・店舗販売の実現を後押ししています。



永井食品工業 永井長治さん

補助金を活用して設備を導入したことで新商品の梅シロップの開発ができました。他にも、商品のパッケージやホームページを一新したことで、購買層が広がり、県外からの購入者を増やすことができました。





かがやけ新規就農者 応援給付金

新たに農業を営む人などを支援する市独自の取り組みです。それぞれの就農の形に合わせて支援し、給付金の使い道は問いません。全国的な課題である高齢化や後継者不足などによる農業者の減少。独立して間もない人や、これから独立を目指す人など、チャレンジする農業者を支援することで、農業の担い手の確保につなげます。

担い手の
確保など

荒廃農地を活用する
農業者を支援

農地再生推進事業 補助金

耕作されずに荒れてしまい、農作物の栽培ができない荒廃農地を活用し、田畑や果樹園などの規模拡大を目指す農業者を支援します。年々増加する荒廃農地の解消と、再生・活用して規模拡大を目指す農業者のための本市独自の補助金です。



中里見農園 中里見大地さん

地元の荒廃農地を解消したいという思いから、補助金を使って農園の規模を拡大。梨農園と梅農園にしました。この補助金があったから荒廃農地の再生、活用に踏み出せました。農家の高齢化が進み、荒廃農地が増えていく中で、この補助金は地域にとっても農家にとってもありがたいですね。

国内・海外へ
高崎の農産物
を発信

農産物などの
販路拡大とブランド力向上



安心で美味しい高崎の農産物や加工品の魅力を広く知ってもらうため、さまざまなPRイベントを開催しています。首都圏の大手百貨店や屋外でのイベント、さらに台湾での開催など、国内外に向け広く発信しています。



石碑に刻まれた 古代の記憶

多胡碑 ●

金井沢碑 ●

山上碑 ●

ユネスコ

「世界の記憶」
に登録

世界が認めた 千三百年前の古代碑

高崎市に現存する上野三碑こうずげさんびと呼ばれる3つの古代碑が、2017年にユネスコ「世界の記憶」※1に登録されました。上野三碑は、いずれも飛鳥・奈良時代に造立された山上碑・多胡碑・金井沢碑からなる3つの石碑の総称で、古代の「多胡郡（現在の高崎市吉井地域、南八幡地区周辺）」に所在しています。それぞれの碑文からは1300年前の地方行政制度のあり方、氏族のつながり、仏教思想の広がりなど多くのことが明らかになりました。このような重要性から、三碑はいずれも国の特別史跡に指定されています。

石碑を建てる文化は、中国から朝鮮半島を経由し、飛鳥時代にもたらされたものです。そのため、三碑の造立には渡来人（新羅系）の影響があったものと考えられています。

このように、上野三碑は古代東アジアの文化の受容と伝播を示す重要な記録物として、世界的にも重要な文化遺産なのです。

注釈

※1 世界遺産、無形文化遺産に並ぶユネスコ主催の3大遺産事業の一つです。古文書や書物などの歴史的価値のある記憶物を保存、後世に引き継ぐことが目的。ゲーテの直筆文学作品やアンネの日記などが登録されています。

多胡郡の範囲

半径1・5km内に古代の石碑が集中

上野三碑と呼ばれる石碑、そのすべてが古代多胡郡に立っています。古代において「文字を刻んで碑を建てる」ことは進んだ渡来文化のひとつでした。石碑が集中する多胡郡は豊かな文化や高度な技術が根付く土地だったのです。

上野三碑



やまのうえひ
山上碑

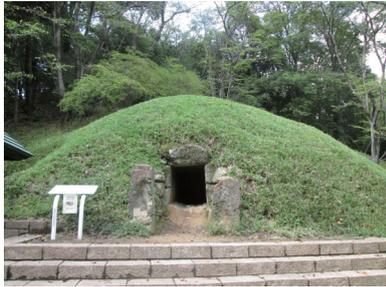
681年、放光寺の僧・長利が母の黒売刀自の供養と自身の顕彰のために造立。碑文は全て漢字で書かれています。日本語の語順で読むことができます。現在につながる日本の漢字の使用法が確認できる重要な史料です。

たごひ
多胡碑



711年、この地に新たに「多胡郡」を設置することが記された建郡記念碑です。当時の政府高官の名を刻むことで、建郡の権威付けを図っていると考えられます。日本の正史である『続日本紀』の記述とも一致する貴重な事例です。

山上古墳



山上碑の東に隣接する直径15mの円墳。山上碑を建てた長利の母「黒売刀自」もここに埋葬されたと考えられている。

かないざわひ
金井沢碑



726年に、三家一族の繁栄を祈って建てられました。碑文には9人の人名があり、そのうち4人が女性です。家族のつながりに女性が大きな役割を果たしていたことが伺えます。群馬という地名が表された県内最古の史料でもあります。

守り伝えられた 古代の記憶

大和を中央政府とした古代国家が完成するのが飛鳥・奈良時代。この頃から国家創成の過程を中国にならぬ文字で記録するようになりました。

行政区分についても中国を参考にし、地方のもっとも大きな区分を国、その下を郡、里と定めました。「金井沢碑」にある上野国※2「群馬」郡下糞郷高田里という住所からは、当時の都である奈良から400km以上離れた高崎まで中央の統治が及んでいた様子が分かります。

また、「山上碑」を建てた長利は、佐野三家という中央政府と強く結びついた名門の出です。この地域の豪族が当時の先進思想である仏教に帰依したことが分かります。

さらに「多胡碑」からは、先進的な渡来系技術が根付いた工業地帯を治めていたのが「羊」と呼ばれる渡来系の人物だったことも推定されます。

多くの古代の記録が失われた中、守り伝えられた上野三碑は、かつての社会の様相を現代に伝える古代東国史の大変重要な史料といえるでしょう。

※2 上野国は、現在の群馬県

発見された 古代多胡郡の痕跡

多胡碑の約350m南に史跡上野国多胡郡正倉跡があります。ここは古代多胡郡の郡家（郡役所）の遺跡で、正倉と呼ばれる倉庫跡が発見されました。正倉とは、郡内で税として集めた米を収納した公的な倉庫のことを指します。多胡郡正倉跡では東西16・8m、南北7・2mの巨大な高床式倉庫が見つかっており、8世紀中頃に創建された総瓦葺の屋根構造を持つ格式の高い倉庫（法倉）であると考えられます。法倉の存在は国家的政策により設置された多胡郡の歴史的特性を反映しています。



発見された法倉の様子

新しい
まちづくりの
ために

豊岡だるま駅と
高崎だるま
ミュージアム(仮称)
の整備

TOYOOKA
DARUMA
STATION

豊岡だるま駅

住宅団地や工業団地などが集積し、通勤・通学者の多い豊岡地区にJR信越本線の新駅設置を進めています。新駅の駅前広場には、一般車両と公共交通の混雑を防ぐためツインロータリー方式を採用。さらに、自家用車から鉄道へスムーズに乗り換えることができるパークアンドライド駐車場を整備し、自動車から公共交通へのシフトを促進します。

駅名は市民アンケートを実施し、JR東日本に要望。結果、アンケートで1位となった「豊岡だるま駅」に正式決定。令和9年3月の開業を目指し、工事を進めています。

高崎だるま ミュージアム(仮称)

日本一の生産量を誇る高崎だるま®の伝統を守り、歴史や文化を国内外に発信するため「高崎だるまミュージアム(仮称)」の建設検討を進めています。

同施設は、さまざまなだるまの展示を行う他、ミュージアムショップやカフェを併設。さらに、来場者による絵付け体験ができる体験工房や、多様な世代が集う創造の場として活用するための多目的室などを備え、多くの人に高崎だるま®の魅力を感じてもらえる施設を目指しています。

また、古くからだるまの生産業者が数多く集まる豊岡地区に建設を予定しており、JR「豊岡だるま駅」の隣接地に設置することで、周辺地域の更なる活性化が期待されます。

DARUMA
MUSEUM



鳥川かわまちづくり
整備事業と
榛名のフルーツ

KAKASU RIVER
KAWAMACHI

鳥川かわまちづくり 整備事業

中心市街地を流れる鳥川は、榛名山や高崎白衣大観音が一望でき、高崎駅からも近いことから、多くの市民に親しまれています。この自然豊かな鳥川左岸エリアに、高崎の食の魅力を発信する拠点を整備します。

地元産果物を使ったスイーツが味わえるフルーツパーラーや、地元食材を使った料理を提供するレストランなどを備えた3階建てのレストハウスを整備。周辺ではキッチンカーが参加する屋外イベントの開催や、高崎パスタが楽しめるオープンカフェ、バーベキューなどができるスペースを確保します。年間を通じて高崎の食を楽しむことができる拠点を整備することで、地域資源を生かしたにぎわいの創出や、まちなかとの回遊性の向上につなげます。

TAKASAKI
FRUIT



高崎のフルーツ

北関東屈指の果樹産地である高崎市。特に榛名地域では、東日本一の生産量を誇る梅や、20を超える品種が栽培されている梨、プラム、モモなどの生産が盛んです。直売所が立ち並ぶ国道406号沿線は「くだもの街道」と呼ばれ、旬の果物を求める多くの人でにぎわいます。他にも市内では、サクランボやブドウ、イチゴなど多彩な果物が生産され、果物狩りができるスポットもあります。



高崎市市勢要覧 2024

発行日 2025年3月31日

発行人 高崎市総務部広報課

〒370-8501 群馬県高崎市高松町35番地1

TEL:027-321-1111(代表) FAX:027-327-6470

E-mail kouhou@city.takasaki.gunma.jp



市ホームページ



市公式 SNS



市 PR 動画

